

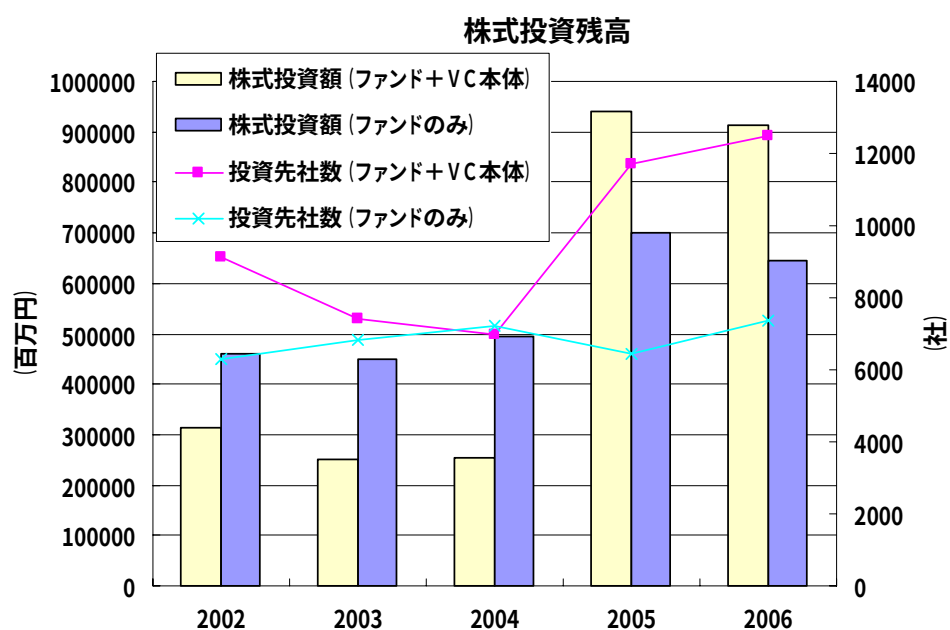
(参考)

図1 国内ベンチャーキャピタル組成スキーム数

項目		単位	ファンドの属性			
			ベンチャー	ハイアウト	地域再生	産学連携
組成数		ファンド	329	25	9	12
組成スキーム	有責組合	ファンド	204	20	8	11
	匿名組合	ファンド	1	0	1	0
	任意組合	ファンド	93	4	2	1
	海外LP等	ファンド	31	1	0	0

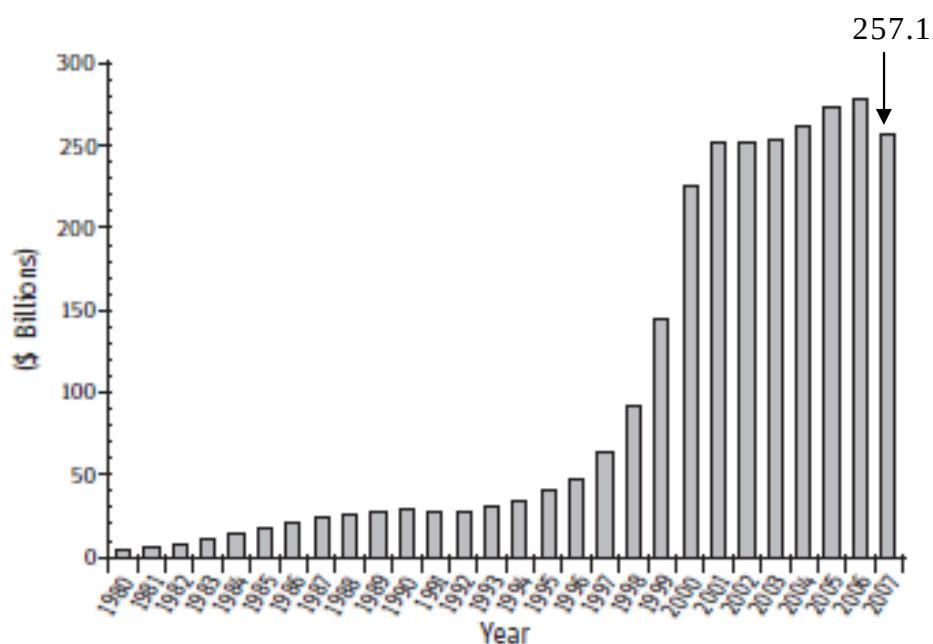
出所)「平成19年度ベンチャーキャピタル等投資動向調査／ベンチャーキャピタル・ファンド等ベンチマーク調査」((財)ベンチャーエンタープライズセンター)

図2 国内ベンチャーキャピタル投資額及び投資先社数



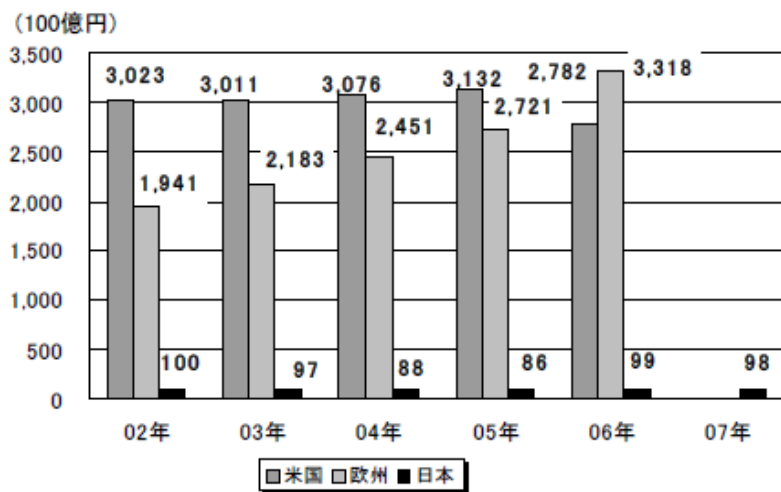
出所)「平成19年度ベンチャーキャピタル等投資動向調査／ベンチャーキャピタル・ファンド等ベンチマーク調査」を経済産業省加工((財)ベンチャーエンタープライズセンター)

図3 米国ベンチャーキャピタルの投資残高推移



出所) NVCA YEARBOOK 2008

図4 ベンチャーキャピタルの投資残高の日米欧比較



(資料)米国はNVCA 2007 Yearbook(1\$=118円換算)、欧州は2007 EVCA Yearbook(1ユーロ=157円換算)、日本は各年報告書による。

図5 国内ベンチャーキャピタルファンドの出資者内訳

(人数:人、金額:百万円)

	人 数		金 額		1人当たり 金額
		構成比		構成比	
無限責任組合員及び業務執行組合員	38	7.1%	20,775	13.9%	561.5
その他組合員計	497	92.9%	126,984	85.1%	258.6
国内計	465	86.9%	106,976	71.7%	233.1
個人	139	26.0%	21,831	14.6%	157.1
他のベンチャーキャピタル	23	4.3%	2,475	1.7%	107.6
事業法人	148	27.7%	35,788	24.0%	250.3
銀行・信用金庫・信用組合	90	16.8%	16,737	11.2%	186.0
保険会社	10	1.9%	10,000	6.7%	1,000.0
証券会社	21	3.9%	8,300	5.6%	415.0
年金基金	3	0.6%	1,800	1.2%	600.0
その他基金・財団	16	3.0%	2,660	1.8%	166.3
その他国内	15	2.8%	7,385	4.9%	492.3
海外計	32	6.0%	20,008	13.4%	625.3
合計	535	100.0%	149,279	100.0%	279.0

Nサンプル社数

N=51

N=52

N=51

注1)人数または金額を回答している会社

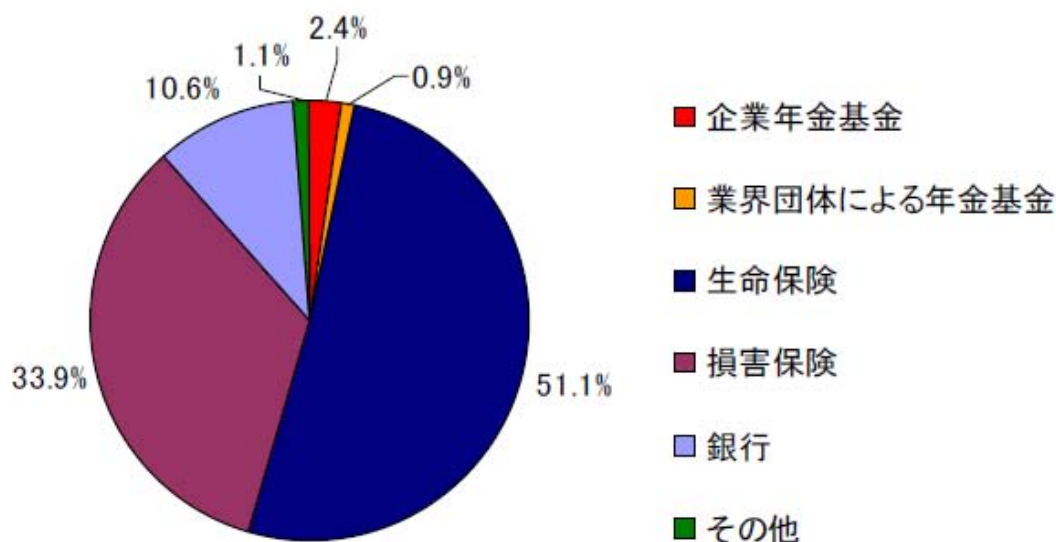
注2)1人当たり金額は人数と金額を両方回答している会社

注3)四捨五入や内訳に無回答があるため、内訳計、合計が一致しないことがある

(注)金額はコミットメント金額ベース(コミットメント金額を特に設定していない場合は払込金額ベース)である。

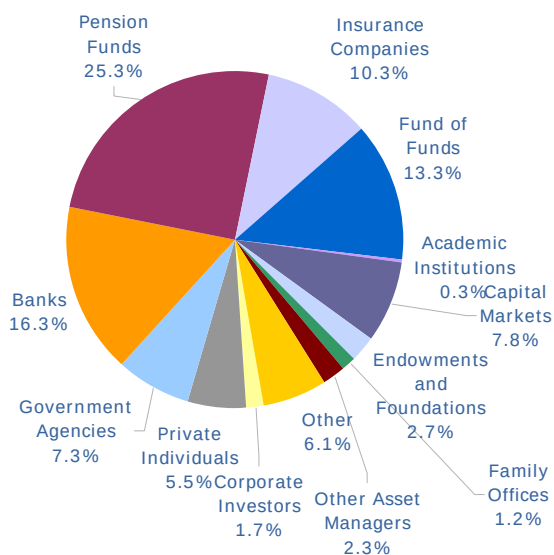
出所)「平成19年度ベンチャーキャピタル等投資動向調査/ベンチャーキャピタル・ファンド等ベンチマーク調査」((財)ベンチャーエンタープライズセンター)

図6 国内機関投資家による投資家別P E出資割合



出所)「機関投資家のプライベートエクイティ投資 ―日本の実態と国際比較―」(京都大学 濱田康行他)

図7 欧州P Eファンド（ベンチャー含む）への投資家割合（金額ベース）
2007



出所)「2007 European Private Equity Activity Survey」 E V C A

図8 米国ベンチャーキャピタルファンドの投資家構成

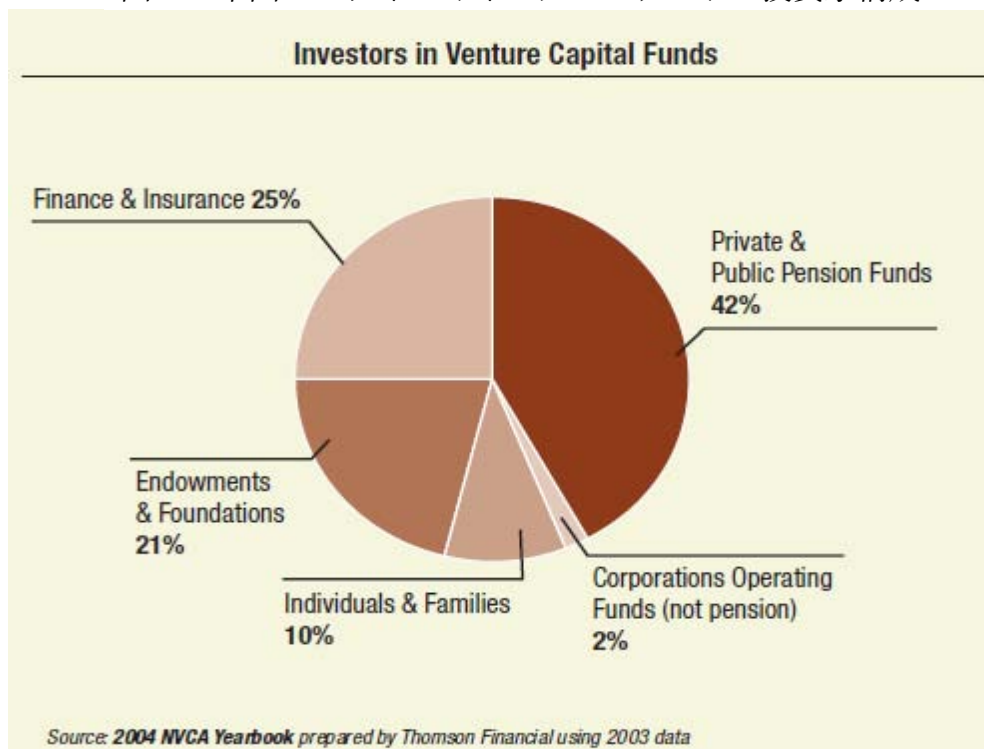
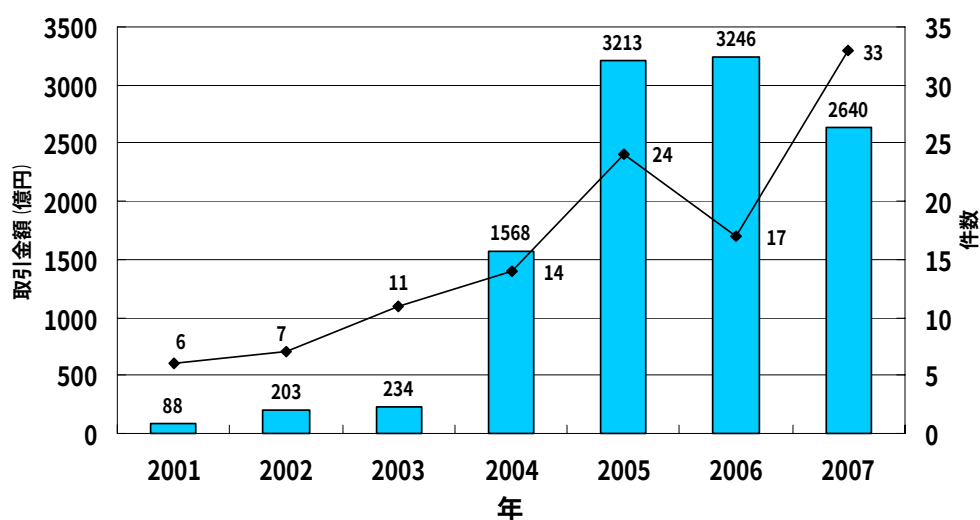


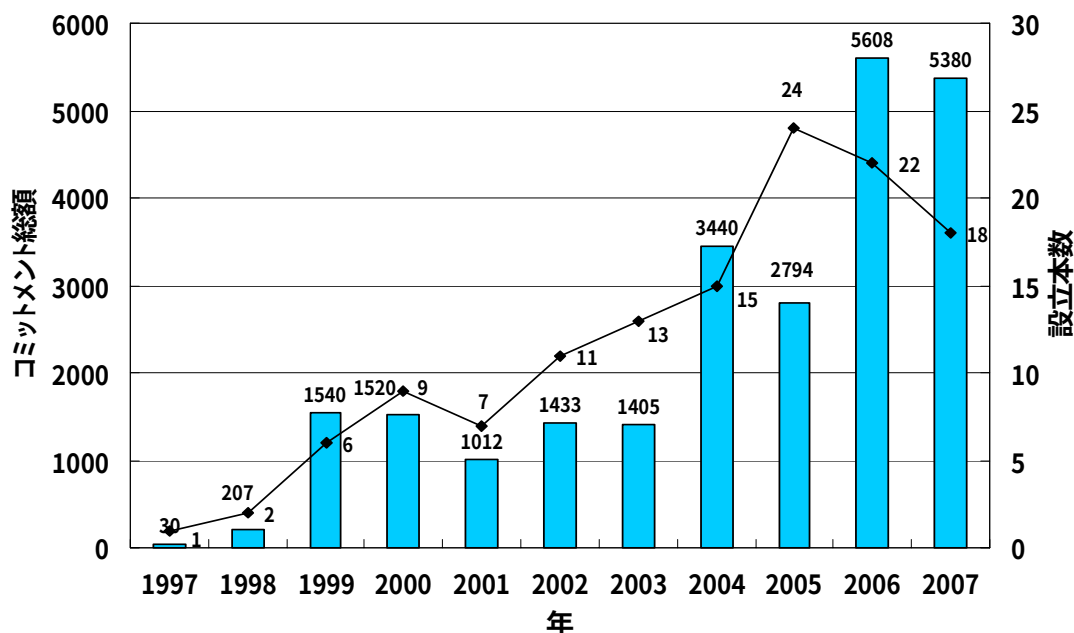
図9 日本のP I P E s 案件の推移



注) バイアウトファンド等の経営支援型のファンドやプリンシパル・ファイナンス会社が実施した案件のみを集計しており、ヘッジ・ファンド等の純投資型のファンドが実施案件は含まない。創業者や親会社からの株式譲渡により実施された案件も一部含まれている。取引金額は、バイアウト・ファンド引き受け金額であり、共同投資を行った金融機関、事業会社、産業再生機構の投資分は含まない。

出所) 日本バイアウト研究所

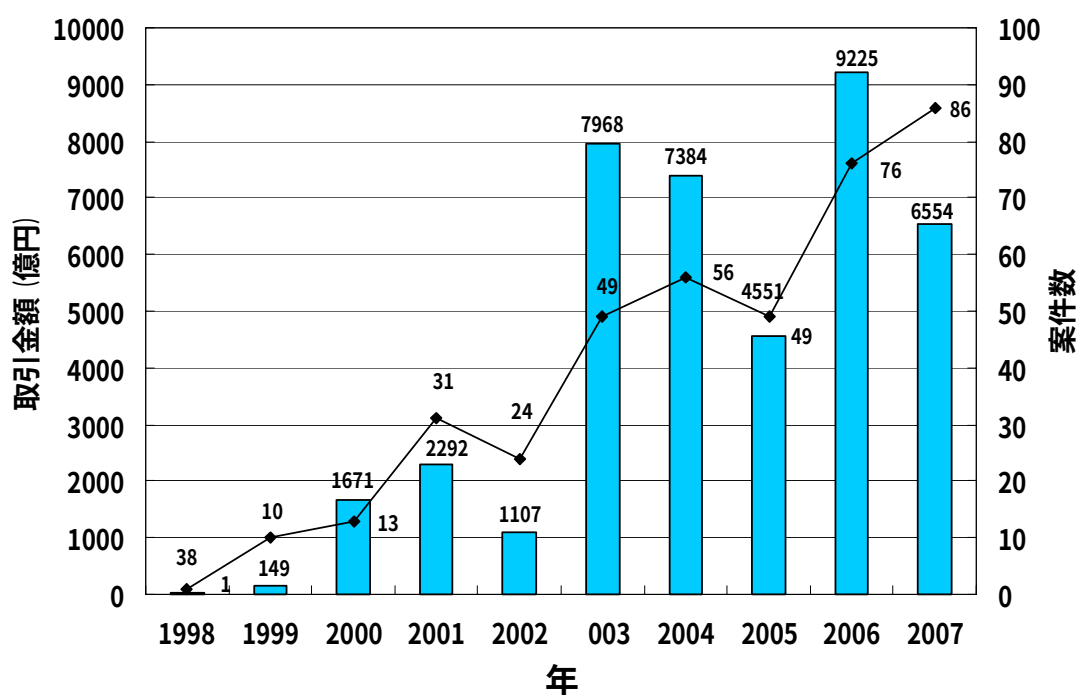
図10 日本のバイアウト・ファンドの設立本数とコミットメント総額推移



注) 集計対象は原則として日本におけるバイアウト投資にフォーカスしたファンドのみであり、単一のファンドから世界各国の企業に投資を行うグローバル・ファンド、ファンド総額の大部分を日本以外のアジア地域も対象とするアジア・ファンドは除外している。また、投資枠の大部分を債権投資に重点を置いているファンドなども除外している。

出所)) 日本バイアウト研究所

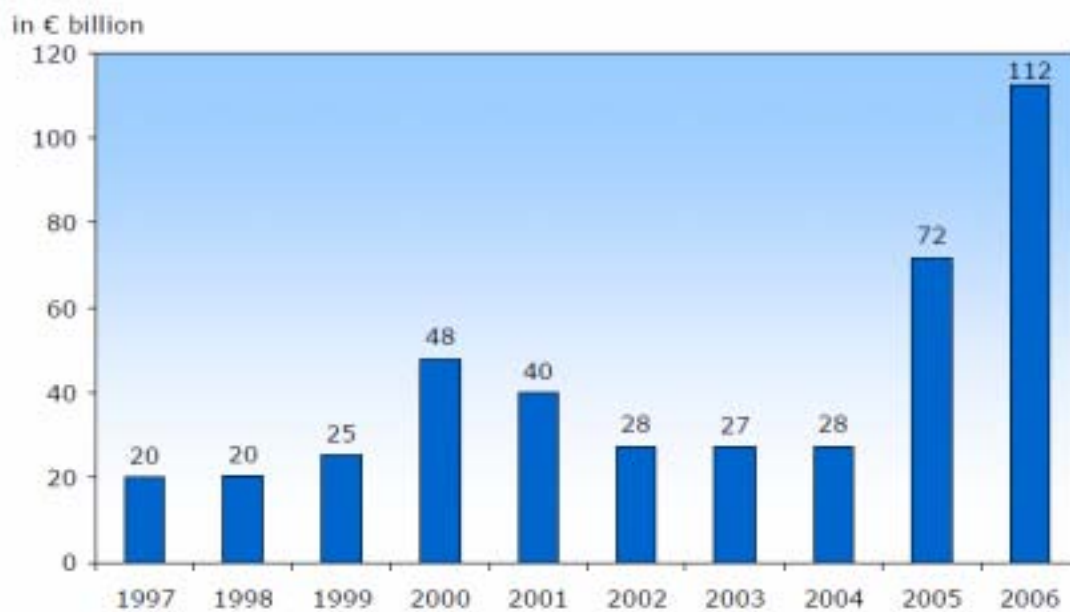
図1 1 日本のバイアウト案件推移



注) バイアウトファンド等の経営支援型のファンドやプリンシパル・ファイナンス会社を実施した案件のみを集計しており、ヘッジ・ファンド等の純投資型のファンドが実施案件は含まない。創業者や親会社からの株式譲渡により実施された案件も一部含まれている。取引金額は、バイアウト・ファンド引き受け金額であり、共同投資を行った金融機関、事業会社、産業再生機構の投資分は含まない。

出所) 日本バイアウト研究所

図1 2 欧州プライベートエクイティファンドの運用残高推移 (ベンチャー含む)



Source: EVCA/Thomson Financial/PricewaterhouseCoopers

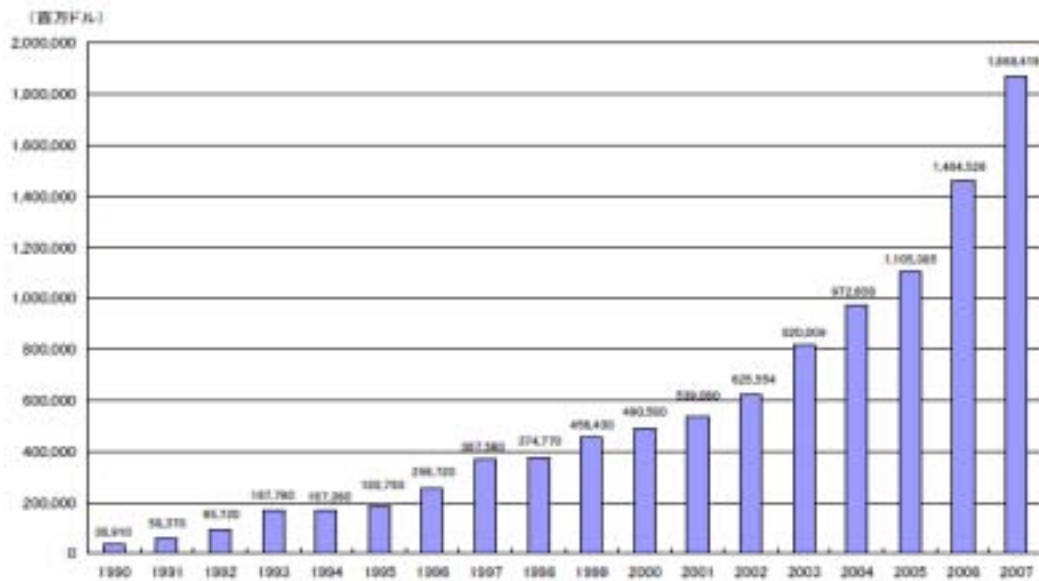
図13 世界のPEファンドによる投資額推移

2005年度実績ランキング上位20位(単位:10億USD)

順位	国名	金額	実効投資額
1	米国	46.41	159.00
2	英国	27.92	58.48
3	中国	8.81	2.14
4	フランス	8.55	13.42
5	日本	7.55	4.42
6	シンガポール	4.41	0.74
7	スウェーデン	3.52	2.35
8	ドイツ	3.16	3.37
9	スペイン	3.12	1.20
10	オランダ	2.74	2.88
11	イタリア	2.58	1.58
12	オーストラリア	2.32	2.08
13	韓国	2.10	2.52
14	インド	1.94	2.48
15	デンマーク	1.24	1.17
16	カナダ	1.24	1.49
17	イスラエル	1.08	1.34
18	南アフリカ	0.89	0.40
19	ニュージーランド	0.75	0.22
20	インドネシア	0.55	-

出所: The PricewaterhouseCoopers

図14 ヘッジファンド運用資産残高の推移



(データソース) Hedge Fund Research, Inc., "HFR Industry Report - Year End 2007" (日興シフィグループ証券株式会社「ヘッジファンド市場 2007 年」 p.6 より作成)

図15 ヘッジファンドの資金源推移

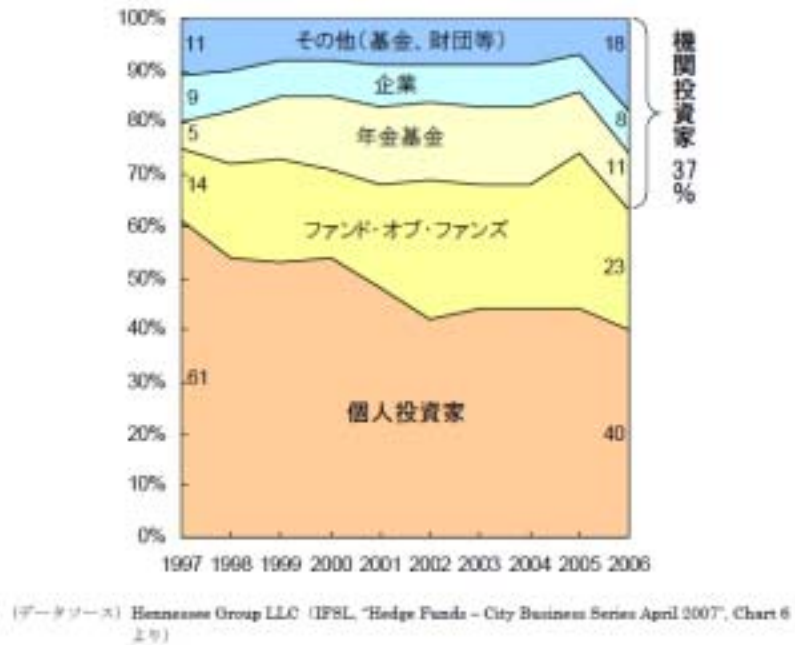
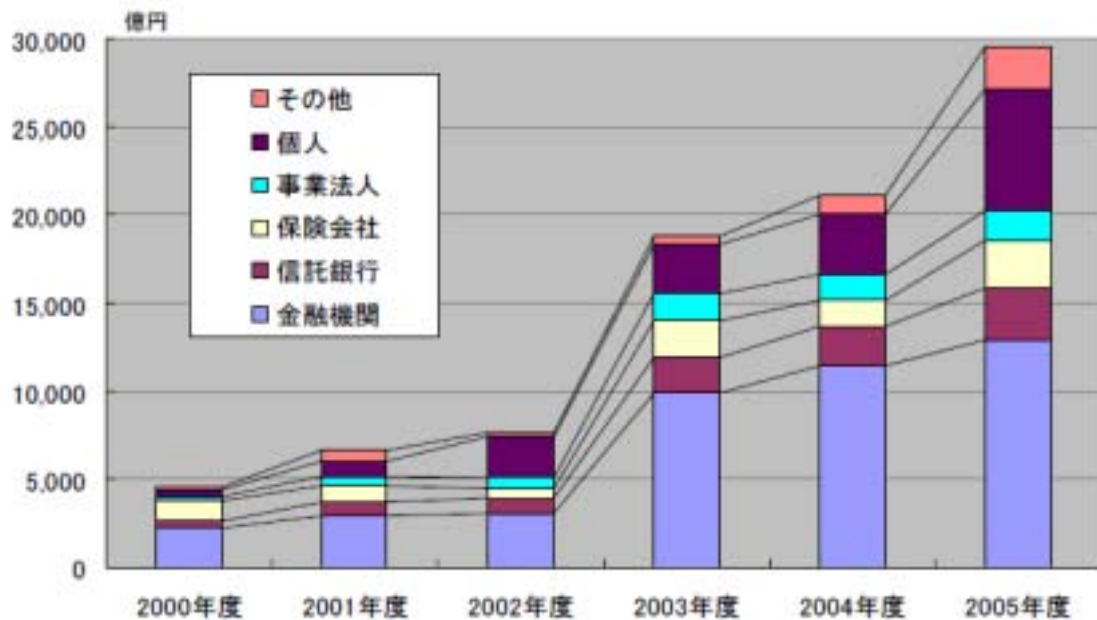


図16 国内の投資家別ヘッジファンド販売額



出所)「ヘッジファンド調査(2006)の結果」(金融庁)

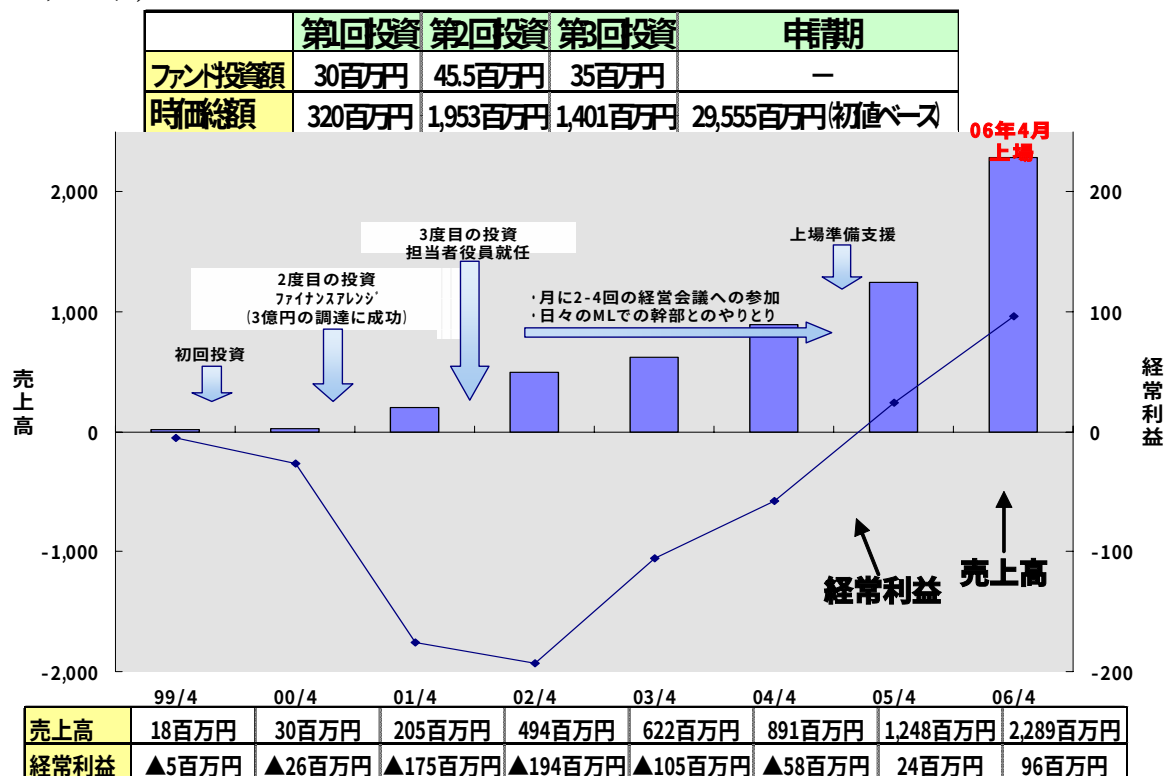
図17 国内のヘッジファンド運用残高

名称	運用残高(億円)
アクシース投資顧問	55
シンプレクス・アセット・マネジメント	1,191
GCIアセット・マネジメント	100
あすかアセットマネジメント	n/a
ムーンライトキャピタル	640
ミョウジョウ・アセット・マネジメント	900
アルフェックス・インベスツメンツ	50
プラウド投資顧問	n/a
ユナイテッド・マネージャーズ・ジャパン	700
21世紀アセットマネジメント	42
エピック・パートナーズ・インベスツメンツ	70
スタッツインベストメントマネジメント	50
フィノウェイブインベスツメンツ	48
ガイア・キャピタル・マネジメント	n/a
モンレー・アセット・マネジメント	n/a
ルート・アセット・マネジメント	n/a
スパークス・アセット・マネジメント	5,430

出所)「国内外で存在感を高めるヘッジファンドの実態調査」

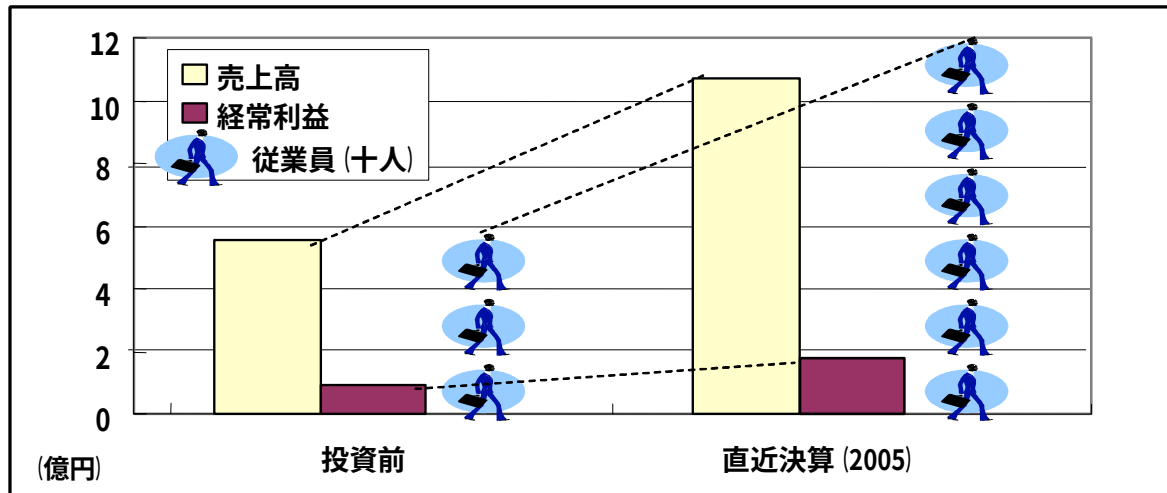
(H19年度経済産業省委託調査事業)

図18 投資先A社への支援内容と業績変化(投資ファンド類型:ベンチャーファンド)



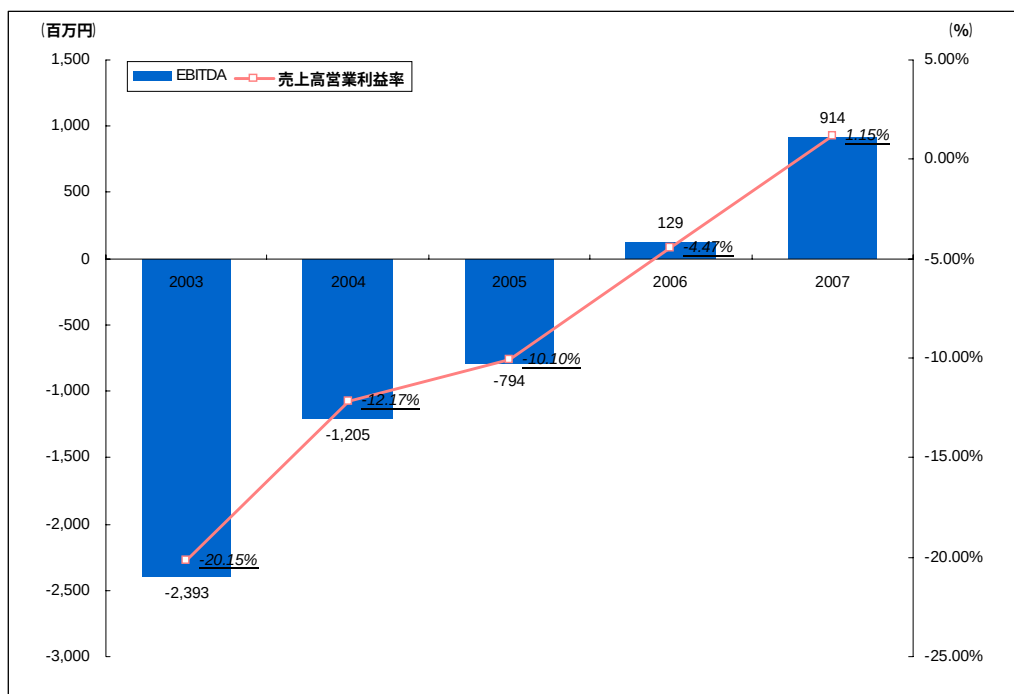
出所) ファンド事例研究会

図19 投資先企業の投資前後の売上高及び従業員数の推移（投資ファンド類型：ベンチャーファンド）



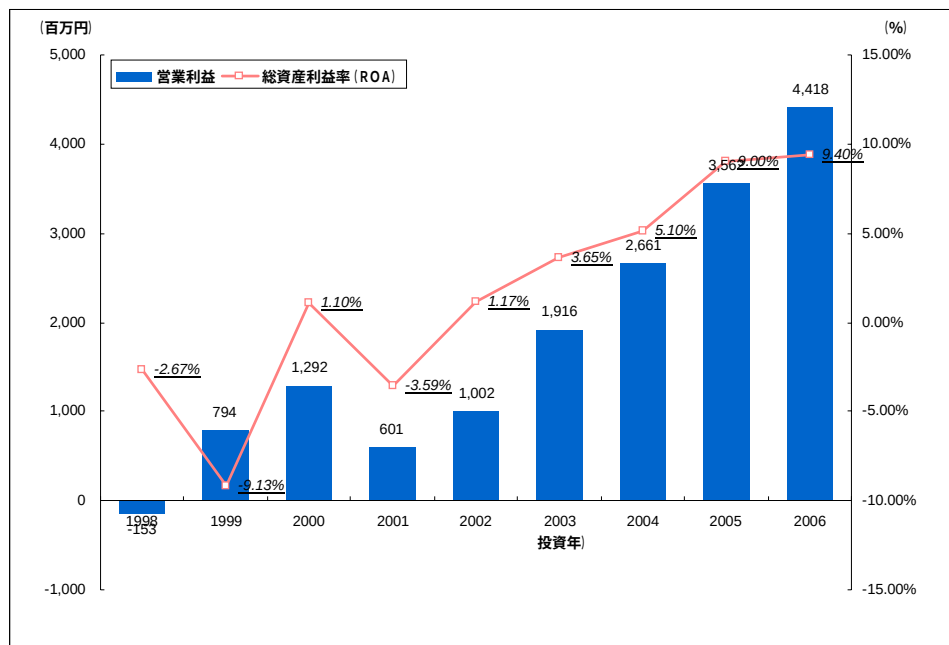
出所) 独立行政法人中小企業基盤整備機構

図20 B社におけるEBITDA及び売上高営業利益の推移（投資ファンド類型：バイアウトファンド）



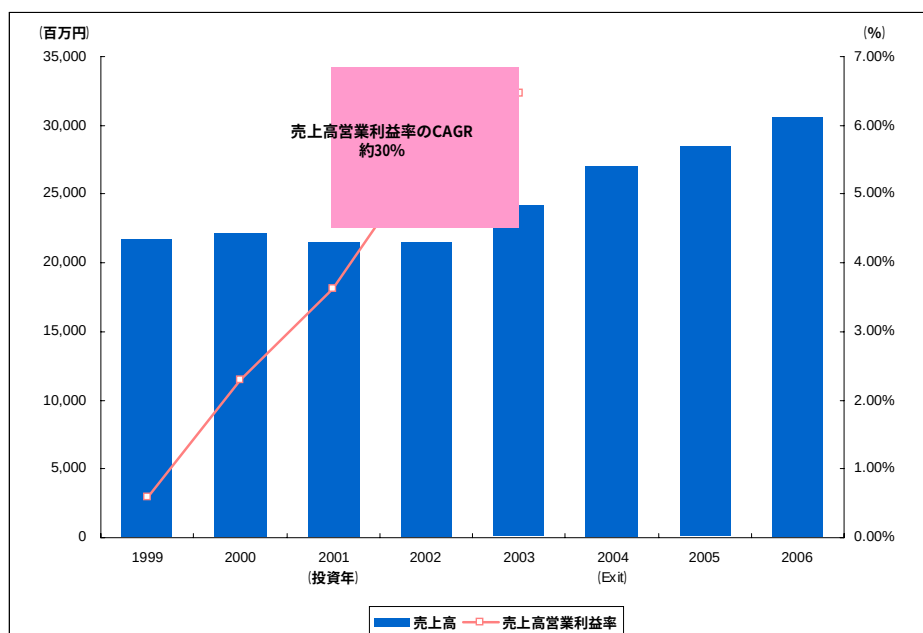
出所) 「国内のプライベート・エクイティ・ファンド及びアクティビストの活動実態等に関する調査研究」（平成19年度経済産業省委託調査）

図 2 1 C 社における営業利益の推移（投資ファンド類型：バイアウトファンド）



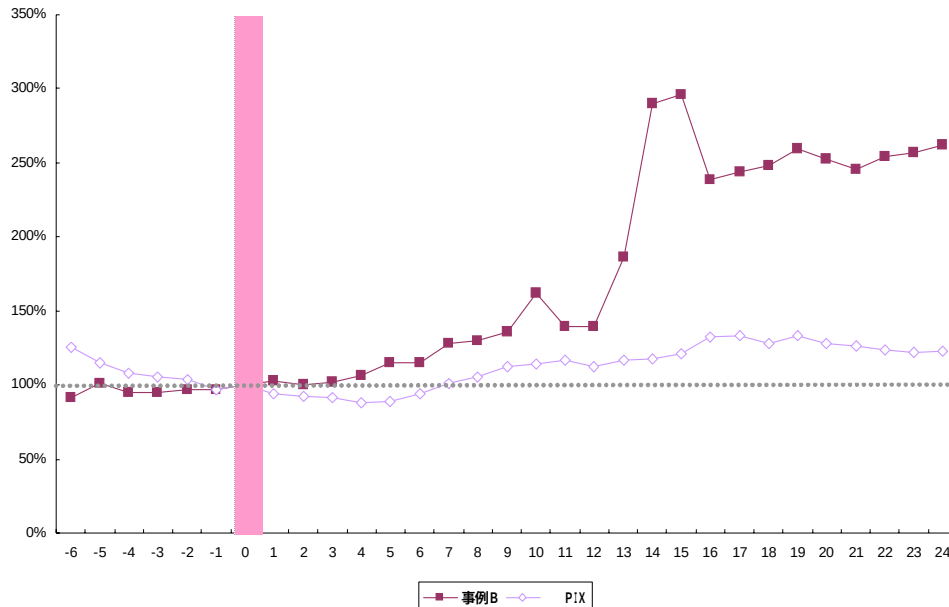
出所)「国内のプライベート・エクティティ・ファンド及びアクティビストの活動実態等に関する調査研究」(平成19年度経済産業省委託調査)

図 2 2 D 社における売上高営業利益の推移
(投資ファンド類型：バイアウトファンド)



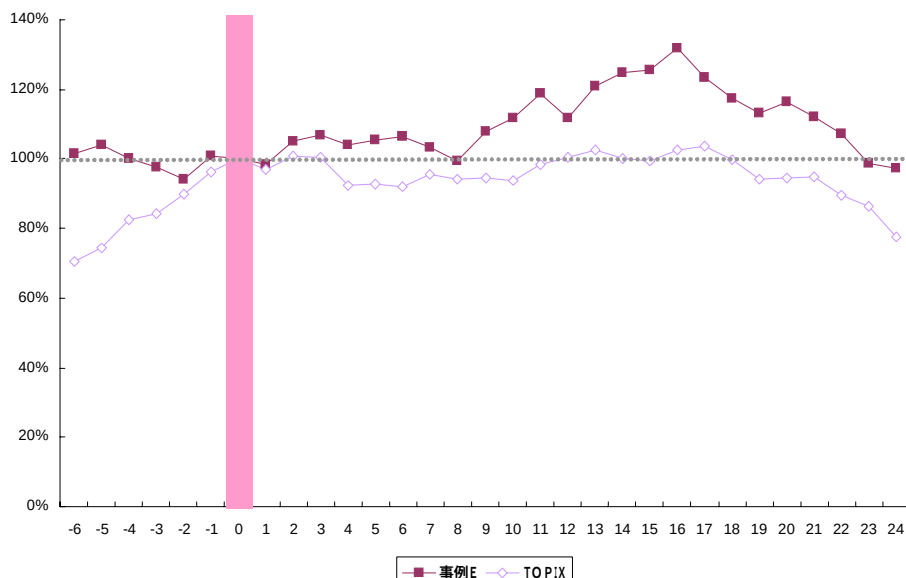
出所)「国内のプライベート・エクティティ・ファンド及びアクティビストの活動実態等に関する調査研究」(平成19年度経済産業省委託調査)

図2-3 投資先E社（化学）の株価推移（投資ファンド類型：アクティビストファンド）



出所)「国内のプライベート・エクイティ・ファンド及びアクティビストの活動実態等に関する調査研究」(平成19年度経済産業省委託調査)

図2-4 投資先F社（薬品）の業績推移（投資ファンド類型：アクティビストファンド）



出所)「国内のプライベート・エクイティ・ファンド及びアクティビストの活動実態等に関する調査研究」(平成19年度経済産業省委託調査)

図 2 5 ファンド α 投資先企業の投資年前期から投資年翌期にかけての経営指標変化

	改善・増加	維持・悪化・減少
従業員	9	6
売上高	10	5
ROA	10	5
PBR	13	2
利益剰余金／純資産	4	11
現預金／総資産	4	11

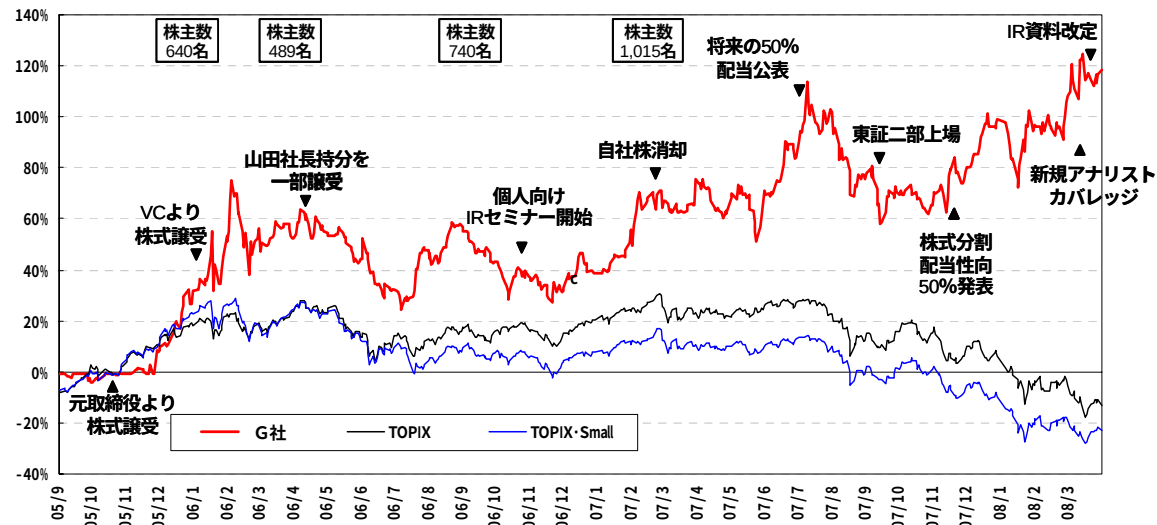
出所) 各社有価証券報告書

図 2 6 ファンド β 投資先企業の投資年前期から投資年翌期にかけての経営指標変化

	改善・増加	維持・悪化・減少
従業員	4	4
売上高	5	4
ROA	6	3
PBR	5	1
利益剰余金／純資産	2	6
現預金／総資産	2	6

出所) 各社有価証券報告書

図 2 7 G 社 株価指数推移（投資ファンド類型：上場株式に投資する新たな形態）



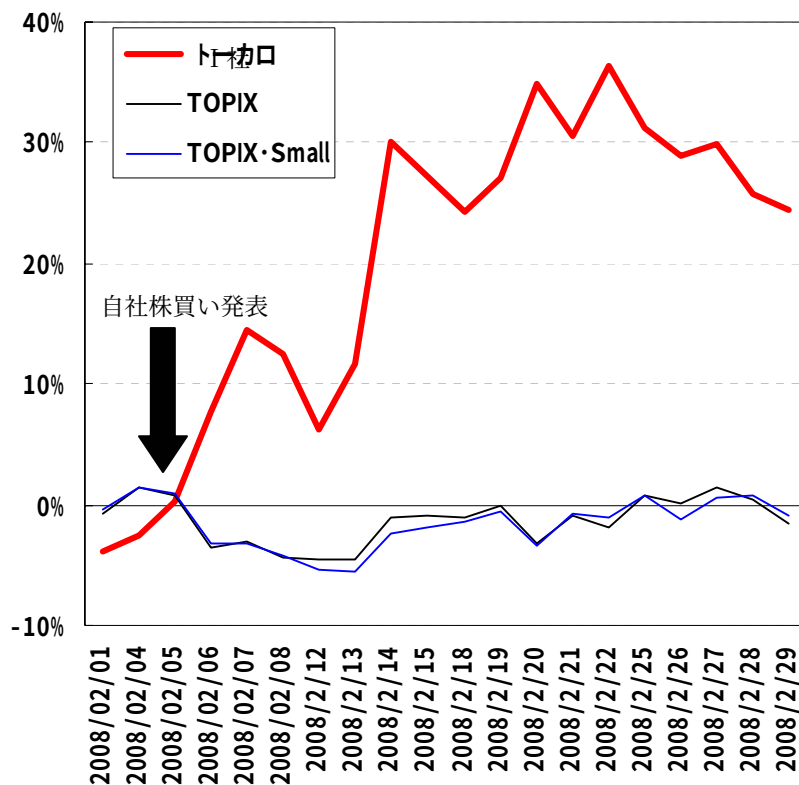
出所) ファンド事例研究会

図 2 8 H 社株価推移（投資ファンド類型：上場株式に投資する新たな形態）



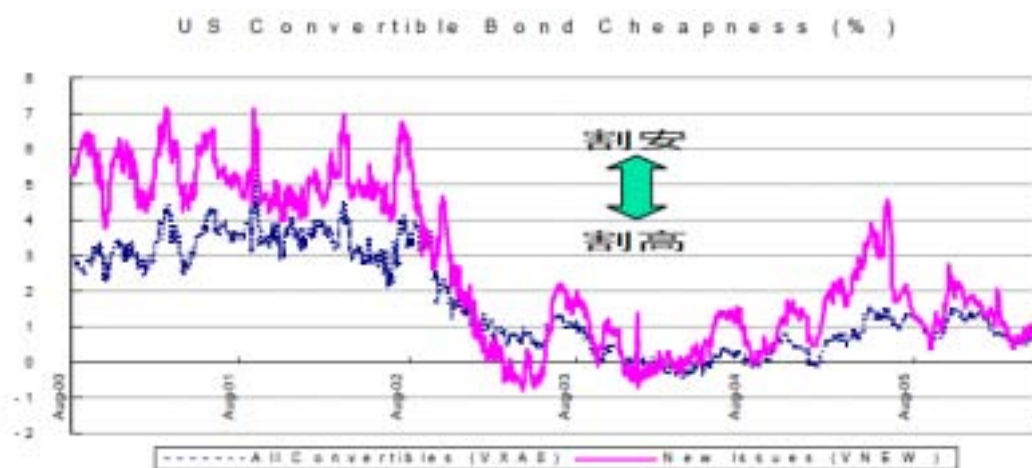
出所) Yahoo!ファイナンス

図 2 9 I 社株価推移（投資ファンド類型：上場株式に投資する新たな形態）



出所) ファンド事例研究会

図 3 0 米国における転換社債の理論価格との乖離度合い推移



【出所】四塚利樹「金融安定性と効率化の観点から見たヘッジファンドのリスクと規制—サブプライム問題を例にとって—」